

## 新宮ライフセービングクラブ 委員長会議 レジюме

平成 26 年 4 月 19 日 18 時 00 分～

そびあしんぐう グループ学習室 2

出席者：金田・大北・田原・篠塚・渋谷・中村・本部・菅・二宮・松友祐

### 1 なぜ理事会・委員会

事業やメンバーも増えてきて、現体制ではパンク状態。今まで田原がしていたこと+ $\alpha$ を各委員会でやることで、ワンランク上の組織を目指すことが主旨。これを礎に更なる組織体力の増強を目指す。これによって多くの発想や自主性ある活動を目指し、それがメンバー増加や、個々のやる気向上につながることを期待している。

### 2 これからが正念場

理事会・委員会を作ったから終わりではなく、今回はただ枠組を作っただけ。これから動かし、カタチにして、歴史にしていくには、この初期メンバーのやる気にかかっている。実態のない枠組だけのようない理事会・委員会とならないよう、ご尽力願います。

### 3 理事・委員長は厳しい面も

理事・委員長はメンバーからそういう目で見られる。それは常に評価されている状態である。また、結果が求められる。当面は、やろうと思えば簡単に委員長交代もできるフレキシブルな運営としていく予定。委員長になりたい人は、評価次第で簡単に入れ代わる。

### 4 若年層の定着

メンバー更新していないのは、ほとんど20歳前後の若年層。どれだけ若者にとって、居心地が悪い団体であるかを証明している。組織の新陳代謝は重要であり、このままでは高齢化が進むだけの組織となる。うまく回らなければ、組織の浄化は当然にやらなければならない。今回はそれも含めて組織の若返りを意識している。

### 5 会社とは違う組織

ボランティアはもちろん会社とは違う。毎日顔を合わすメンバーでないし、強制もできない。やりたい、こうした、こうなりたいなどで支えられる組織である。逆に、縛りがなく、何でも出来て、やりたいことが実現できるはずである。行政や企業では出来ない、でも社会的にやらなければいけないことの実現のためにみんな頑張っている。

### 6 委員会

- ・やり方などは各委員会に任せる
- ・事前資料を準備し、より効率的に
- ・発展的、建設的な議論を
- ・WEB に up するので、月末までに議事録を田原へメール or 委員長会議で報告
- ・開催時期や頻度は決めません
- ・とりあえずなるべく 5 月末までに各委員会を開催→その後理事会
- ・今年度の予定を各委員会で話し合い、委員長会議へ
- ・現在文書関係を整理中
- ・今年度 1 年かけて、田原→各担当者へ移行していく
- ・各委員会は SNS などを活用しても OK